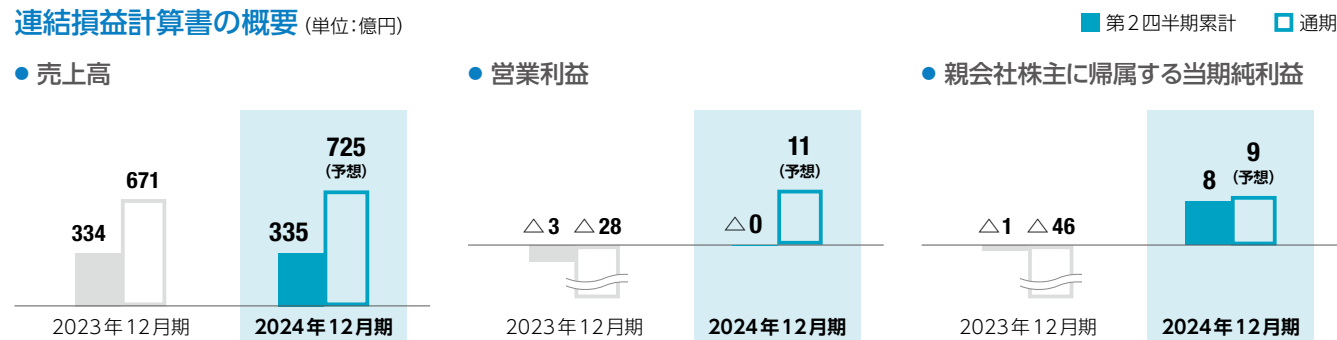
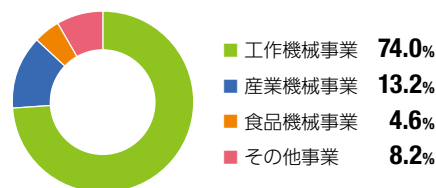


業績・財務ハイライト

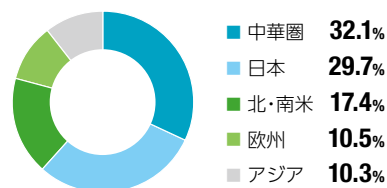
連結損益計算書の概要 (単位:億円)



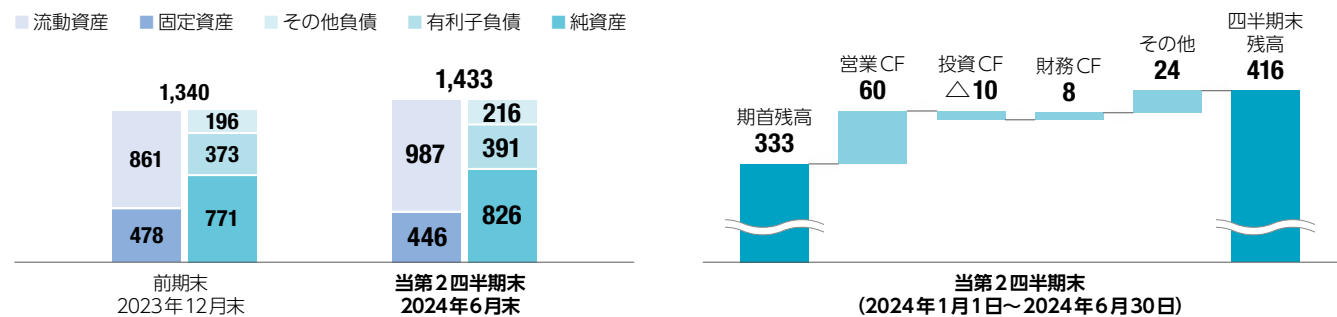
セグメント別売上高構成比 (2024年12月期第2四半期累計)



地域別売上高構成比 (2024年12月期第2四半期累計)



連結貸借対照表の概要 / 連結キャッシュ・フロー(CF)計算書の概要 (単位:億円)



IRサイトでさらに詳しく

IRサイトでは、決算短信、決算説明資料など詳しい決算情報をご覧になれます

https://www.sodick.co.jp/ir/ir_note.html

ソディックIR

検索



業績ポイント解説

Q 上方修正の要因は？

A 2024年12月期通期連結業績予想につきまして、売上高725億円(期初計画比3億円増) 経常利益16億円(同5億円増) 当期純利益9億円(同2億円増)へ上方修正いたしました。その要因として、売上高については、想定していた為替レートより円安傾向で進捗していることによる押し上げ効果等、経常利益及び当期純利益については、円安進行による為替差益の発生等によるものです。なお、営業利益は、売上原価及び固定費の低減による効果が一部寄与するものの、主に工作機械の販売台数減少による工場収益性の低下を見込み、期初計画を据え置いております。

※上記の修正予想の前提となる下期の主な為替レートは、1ドル145円、1ユーロ158円を想定しております。

Q 営業利益改善の要因は？

A 2024年12月期第2四半期の営業利益は、5四半期ぶりに黒字回復いたしました。その要因は、主力の工作機械事業で当期の総販売台数が増加したことに加え、構造改革の推進により売上原価及び固定費の削減が進捗したことによるものです。売上総利益は、前四半期比で約16億円増加(売上総利益率5.1ポイント改善)となりました。中国の生産体制集約による製造原価削減も進展しており、新興国インドでも販売台数が増加しておりますので、引き続き販管費の増加を適切な範囲に抑えつつ、事業計画の達成をめざします。

株主還元方針

当社では、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当を実施することを基本方針として、DOE(株主資本配当率)2.0%以上を目標にしています。また、業績連動を加味した、より機動的な還元政策を実施すべく、総還元性向*40%以上も併せてめざしております。

2024年12月期の中間配当は1株につき14円といたしました。期末配当は15円、年間配当は29円を計画しています。厳しい事業環境の中においても持続的な成長と株主の皆様への適切な利益還元のため、安定配当を実施してまいります。

※総還元性向とは、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当額と自己株式取得の合計額の比率を表します。

